

ABL(動産担保融資)、インフラリート、ヘルスケアリート等
ファイナンス・税務・会計・M&A・事業承継等の分野で
「動産」「機械・設備」評価のニーズが急速に高まっています。

米国鑑定士協会 (ASA) 国際資産評価士(機械・設備)養成講座(ME201~ME204)

ASA 米国鑑定士協会 (日本資産評価士協会)

IFRS、TPP、EPA/FTAの導入など、金融・経済のグローバル化へ向けた動きが加速化し、世界は資産の時価評価を前提とした企業経営へ大きくシフトしつつあります。また、厳しさを増す国家財政の下、民間資金の活用を目指し、公共事業におけるコンセッション方式の導入、ヘルスケアや公共インフラを対象としたリート市場が創設される等、機械・設備を含む幅広い資産を対象とした新たな投融資も活発化しています。これまでわが国は確定決算主義の伝統の中、機械設備等の動産については税務簿価が適用されてきましたが、今後時価評価に向けたニーズが急速に高まって来るものと考えられます。ASA(米国鑑定士協会)は、資産評価に関する資格・教育分野で世界的に高い権威と信用を持ち、特に機械設備の分野では、ASAの資産評価士資格は、世界で唯一の国際的に認知された資格です。当講座の修了は、資格取得の要件の1つとなっており、講義、演習、修了試験で構成される全4回の講習を通じて、グローバルスタンダードに基づく機械・設備評価の理論及び実務を修得します。

評価原論 (ME201~ME204)

当講座は、米国鑑定士協会 (ASA) の機械設備評価の国際資格取得に向けた養成講座です。ASA 本部から実務経験豊かな認定講師を招き、通訳による日本語環境での講義を行います。(各コース3~4日、全4回実施)。JaSIA/ASA に入会し、学科講習と試験を修了の上、所定の実務経験を満たし、評価報告書の審査を受けることにより、ASA 国際資産評価士(機械設備)の認定資格を受けることができます。(資格取得に関する詳細は当協会ホームページをご覧ください。)

※日時、会場、受講料、お申込方法等の詳細は裏面をご覧ください。

本講座を構成する4コース(評価原論)の概要

ME201 機械設備評価入門

機械設備評価の基本用語・概念を修得し、評価士になるための基礎を構築します。

履修内容：用語の定義、評価の機能と目的、主要評価手法(コスト、マーケット、インカムアプローチ)、減価要素、現地調査、価格指数活用の基礎、評価額決定プロセスの演習、評価基準と倫理等

事例演習：
包装会社の製造ライン等

ME202 機械設備評価の理論と手法

ME201の履修内容を掘り下げ各種評価額に関する理解を更に深めていきます。

履修内容：価格と価値、間接費用、指数の活用、Age-Life分析、機械設備で使用される各種価値概念(再生産・再調達コスト、公正価値、各種処分価値等)、評価目的に対応した結論の構築等

事例演習：
プラント、工作・建設機械等

ME203 上級テーマと事例研究

ME201及び202で修得した概念・テクニックのより高度な活用を学びます。

履修内容：ベキ指数の活用(コストエンジニアリングに基づく手法)、再生産・再調達コストの推定による算出、機能的減価の算定、調査手法、現在価値の概念等

事例演習：
オイルターミナル、航空機等

ME204 上級テーマと報告書作成

ME201~203での履修事項の総括と復習の後、総合課題を通じ、知識の定着を目指します。

履修内容：USPAP(米国鑑定業務統一基準)/IVS(国際評価基準)、評価倫理、レポート作成、より高度な減価額の査定、低稼働資産の評価、リース取引(リースで使用される各種評価額)等

事例演習：
製鋼所の評価、総合演習等

※上記の内容は、都合により改訂・変更の可能性がございます。

For more Information visit : www.jasia-asa.org TEL. 03-5350-8808